

清水町民に インタビュー



かじの けんと
梶野 健人 さん



みんながお友達になれる町がいい

山登りやスキー、スノーボードが好きなので、自然の近くで暮らしたいと思っていました。清水町は山が近く、雪も多くなく住みやすい町です。特に上清水方面から見える山並みが好きです。

— 清水町を選んだ理由は —
千葉県浦安市出身です。高校2年生から北海道で暮らし、大学卒業後は建設会社で現場監督として働いていました。北海道で暮らしたいという思いがあり、仕事を辞めて2023年に清水町へ移住しました。

— 自己紹介 —
今回は、町内の空き店舗を自ら改修し、^{やどかり}「宿借商店」(本通2)として新たな拠点づくりに取り組む梶野健人さん(写真左)と地域おこし協力隊の長谷川海さん(写真右)を訪ね、お話を伺いました。(インタビューは梶野さん)

— 現在取り組んでいることは —
空き店舗をリノベーションしています。普段はカフェとして営業し、お店を始めた人が試せる場所にしたいと考えています。空き家や空き店舗を活用し、お店を始める人につなげていきたいと思っています。

— 将来どんな町になってほしいか —
みんながお友達になれる町がいいですね。いつものグループだけになったり、初めて来た人は入りづらいと思います。いつものメンバーも、お久しぶりの人も、初めましての人も楽しめたらいいなと思います。

— 町民の皆さんへ一言 —
現在リノベーションを進めています。見学もできますし、作業を手伝ってくれる人も大歓迎です。
(聞き手 広報広聴常任委員会 山本 奈央)

今号の 表紙

北海道の総合学科トップランナー「清水高校」

今号の表紙は、今年総合学科創設30周年を迎えた清水高校の活気あふれる学校祭の写真を使わせていただきました。節目の年を迎えた清水高校の魅力や総合学科の特色について、校長先生にお話を伺いました。

いつも応援ありがとうございます。7月3日、4日に学校祭を無事に開催することができました。特に今年はフィナーレを飾る花火が予算不足のため、できないかもしれない状況に置かれていました。しかし、あきらめずにクラウドファンディング等で寄附を呼びかけたところ想像以上の寄附をいただき、花火をすることができ、青春の思い出の良き1ページとすることができました。地域の方々や同窓生の方々など、心から感謝申し上げます。

さて、清水高校は全道で最初の総合学科であり、今年で30年目の節目を迎えます。清水高校は、全道で19校の総合学科の学校から、未だに系列や取り組みについて聞かれる存在です。今後も「社会創造系列」「自然科学系列」「産業技術系列」「食品ビジネス系列」の魅力的な4系列を備え、工夫を凝らし、北海道総合学科のトップランナーとして、職員一丸となって努力していきます。カリキュラムでは、多彩な選択科目を用意し、少人数での授業に加え、プレゼンや発表等をする機会も多いのが特徴です。そのため、生徒は「協調性や積極性、社交性」など、社会に必要なスキルを身に付け、3年で見違えるような成長を遂げて卒業していきます。今後どうぞよろしくお願いします。

(話し手：北海道清水高等学校校長 富永 学 聞き手：表紙担当 広報広聴常任委員会 中島里司)



次回の定例会

9月3日(木)

10:00開会

令和8年9月定例会は、9月3日に開会を予定しています。

詳細は、9月上旬に発行する新聞チラシ折込をご覧ください。

